



中学生・高校生向け読書案内 No. 82

みんなの「自分らしさ」を大事にしよう。



LGBTQ+を知る



レインボーフラッグ誕生物語

セクシュアルマイノリティの政治家ハーヴェイ・ミルク

ロブ・サンダース/作 スティーブン・サレルノ/絵

日高 庸晴/訳 汐文社

セクシュアルマイノリティの人たちのシンボルとなっているレインボーフラッグ。虹色の旗(元は8色)が生まれた背景には、ひとりの政治家の戦いがありました。同性愛への抵抗感と差別が今よりもっと大きかった1970年代に、ハーヴェイ・ミルクは差別のない社会のための活動を始めました。しかし、ゲイであることを公言した彼と仲間たちには、想像を絶する困難が待ち受けていたのです。

希望と平等を求めて戦った人々の思いが込められた、虹色の絵本を手にとってみませんか。(Eサ)



兄の名は、ジェシカ

ジョン・ポイン/著 原田 勝/訳 あすなる書房

中学生のサムにとって、4歳年上の兄ジェイソンはあこがれのヒーローでした。サッカーが上手でみんなの人気者、そのうえ学校一美人の彼女までいる…。そんな兄がある時、女の子に見えるような格好をし始め、自分はサムの姉さんだと言うのですから家族はみんなとまどいます。兄を誰より尊敬するサムでさえ、彼の味方になることができず、早く元どおりのジェイソンになってほしいと願ってしまうのです。

ジェンダーや性的指向という重くなりがちなテーマですが、問題に立ち向かう青年の生き方を時にコミカルに、丁寧に描いた物語です。(93ポ)

きらきらひかる

江国 香織/著 新潮社

同性の恋人がいる医師・睦月と見合い結婚をした笑子。そんな彼女に睦月の父が、こう告げます。

「あいつと結婚するなんて、水を抱くようなものだろう」

この言葉は、ただ彼が好きだという気持ちで結婚生活を営む笑子に鋭く突き刺さるのです。

男女の関係をもたない結婚はありえるのか。「好き」という感情は「性」とは切り離せないのか。そして「水を抱く」とは、何を意味していたのか。

30年前の作品ですが、LGBTQ+が広く認知されてきた今こそ読みたい恋愛小説の名作です。(F工)

~もっと知りたい人に~

マンガでわかるLGBTQ+

パレットーク/著 ケイカ/マンガ 講談社

今さら聞けないLGBTQ+の疑問に答える入門書!

(367.97)

女子サッカー選手です。そして、彼女がいます

(みんなの研究)

下山田 志帆/著 偕成社

一人の女子サッカー選手が伝える「自分のことも、そしてだれかのことも大切にするため」の話。(36)

性の多様性ってなんだろう? (中学生の質問箱)

渡辺大輔/著 平凡社

LGBTQ+だけが性の多様性を表すのではない。様々な性のなかの一人である“私”について考えよう。(36)

★ 新刊ピックアップ ★2022年12月～2023年4月

ごはん食べにおいでよ

小手鞠 るい／著 satsuki／画 講談社

今日オープンするバイカリーカフェ「りんごの木」。そこには、“ぼく”森崎雪が中学生の頃見た夢と思い出が詰まっている。今日この日につながる事ができたのは、「おかずやさん」をひとりで経営していた祖母の存在や、大事な出会いや出来事があったからだ。(91コ)



短歌のガチャポン

穂村 弘／著 メリンダ・パイノ／画 小学館

「 $(7 \times 7 + 4 \div 2) \div 3 = 17$ 」これが短歌？
「かっこなな／かけるななたす／よんわるに／かっことじわる／さんはじゅうなな」見事に五七五七七になっています。

歌人穂村弘が「いいな」と思った短歌100首を解説します。(911.16)

心のなかはどうなっているの？

高校生の「なぜ」に答える心理学

日本青年心理学会／企画 若松養亮／責任編集 福村出版

青年心理学の観点から思春期・青年期における様々な悩みを、研究成果を用いて分かりやすく解説しています。友だちや学校、進路…、日々の高校生活で感じるモヤモヤをテーマ別にまとめているので、読みたい所から読み始めることができます。(371.47)

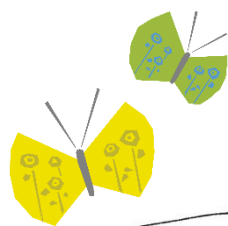
学校では教えてくれない生活保護

(14歳の世渡り術シリーズ)

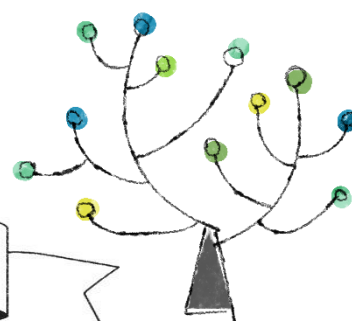
雨宮処凛／著 河出書房新社

「お金がない。食べるものも尽きた。」生活に困窮したら誰に助けを求めますか。生活保護はあなたの命を救う最後のセーフティネットです。

あまり知られていない生活保護の実態と、それをより良く使うための入門書です。(36)



ほかにもこんな本が入りました



大学で何を学ぶか

永守 重信／著 小学館 (159.7)

オタク六法

小林 航太／著 KADOKAWA (320)

日々憶測

ヨシタケ シンスケ／著 光村図書出版 (726.1)

ぼくらは、まだ少し期待している

木地 雅映子／著 中央公論新社 (Fキ)

ビリギャルが、またビリになった日

小林 さやか／著 講談社 (916コ)

YAコーナーへぜひどうぞ♪